

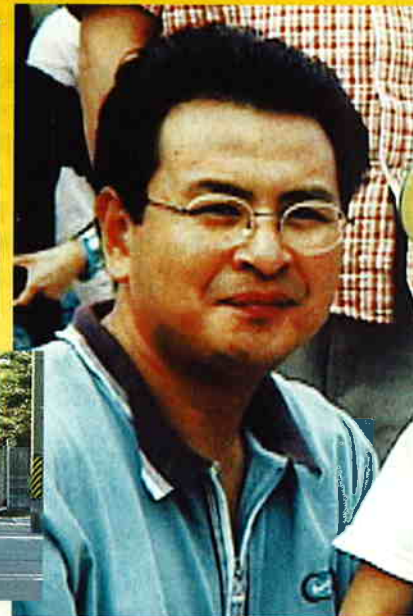
ドキュメンタリー
社会教育
交通安全映画

(財)全日本交通安全協会推薦

交通死

悲惨な交通死。ある日突然、前触れもなく大切な家族の命を奪われたら・・・
遺された家族の心の傷は生涯癒されることはない。
すべてのドライバーはハンドルを握る時、人の命を握って運転しているということを、念頭に安全運転に心掛けねばならない。

癒されぬ悲しみ



協力 安田宏司さんと家族の皆さん
堀池光雄さんと家族の皆さん
徳永美香さんと家族の皆さん
全国交通事故遺族の会

ナレーター 野田圭一

カラー 25分
価格(税込) ビデオ 73,500円
DVD 84,000円

製作 ■ 新生映画株式会社

交通死一癒されぬ悲しみ

製作意図

悲惨な交通事故は後を絶たない。

大切な家族の命を、ある日何の前触れもなく突然奪われたら……。遺された家族の心の傷は余りに大きく、生涯癒されることはないのです。

本映画は、この悲劇を二度と繰り返さないために、交通事故で、ある日突然最愛の家族の命を奪われた、交通遺族の方々取材し、交通遺族の方々が抱える、悲しみ、怒り、苦しみを通して、すべてのドライバー・市民に、ハンドルの重さは、人の命の重さと同じなのだと言うことを常に心に置き、安全運転を心掛けねばならないと訴えます。

映画の内容

■高速道路で大型トラックによる追突事故の犠牲になった安田宏司さん

事故は、三重県の東名阪自動車道で起きた。渋滞で止まっていた安田宏司さんのライトバンの後部に、15トラックが激突、安田さんは車ごとトラックに押し潰された。誰にも看取られることもなく壮絶な死だった。妻と小さな子ども二人を残して、さぞ無念であったろう。

大型トラックの運転手は地図を見ていて前方を全く見ておらず、まさに目隠し状態で暴走、渋滞の車列に突っ込んだのである。

子どもたちの大好きだったお父さんは、もう帰ってこない。

高速道路での事故、とりわけ大型車による事故は大惨事を引き起こす。わかっている筈なのに何故、大型車による追突事故が後を絶たないのだろうか。

■飲酒運転の犠牲になった堀池光雄さん

事故は、見通しの悪いカーブ道で起きた。加害者の2トラックは、下りのカーブ道をクラクションを鳴らしながら、対向車線をはみ出し、堀池光雄さんの軽トラックと衝突した。

光雄さんは右大腿骨骨折など、加療2ヶ月と診断された。しかし手術中に肺塞栓症を起こし、死亡した。加害者は飲酒運転の常習者で、事故当日も立ってられない程だったと言う。

僅か28年でその生涯を閉じた光男さん。かけがえのない一人息子を失った母の嘆きを加害者はどう聞くのだろうか？ 飲酒運転は犯罪であり、絶対に許されない。

■夜間、カーブ道での無謀な追い越しによる事故の犠牲になった徳永美香さん

事故は、自宅のある市内の山道で起きた。夜間、徳永美香さんがミニバイクで走行中、見通しの悪いカーブ道に差し掛かったところ、対向車線を走行してきた左ハンドルの外車が前方の車を追い越そうと反対車線に大きくはみ出し、美香さんのミニバイクと正面衝突した。

集中治療室に運ばれた美香さんは、その後二度と意識が戻ることはなかった。

無謀な運転の犠牲となり、無念にも僅か19歳で命を絶たれてしまった。あと少しで成人式を迎える筈だった美香さん、成人式は友人の胸に抱かれて参加した。しかしあの明るい笑顔はもう見られないのだ。

＋ ＋ ＋

悪質な交通事故に対する罰則が余りにも軽い。交通事故被害者の声は全国的な運動へと広がり、危険運転致死傷罪が新設され、飲酒運転や危険かつ悪質な運転行為により人を死傷させた場合、厳罰に処せられることになった。

しかし、ちょっとした不注意で起こした事故ならば許されるのだろうか。

ある日突然大切な家族の命を奪われたら……。

遺された家族の心の傷は生涯癒されることはない。

製作 ■ 新生映画株式会社

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町6-20-403
TEL 03(3464)4841 FAX 03(3464)4855

配給